

暑い夏 大活躍の東中生！



東海中新聞

NO. 384

令和5年8月号

男子陸上部の

さんは、100mで東海大会に出場しました。決勝では第5位入賞

言葉の コミュニケーション を磨く

教務主任

「もっと先輩と一緒にいたいよ」「先輩はあこがれの存在です」。これは、市長杯総合体育大会後に、一・二年生の部員が発した言葉です。わかりやすく教えてくれる、困っているときに声をかけてくれる優しさです。そこから

は、先輩に対する感謝の気持ちを受け止める後輩の姿があります。東中生には心を素直に聞き入れる優しさがあります。このことは、学校教育アンケート項目「自分が困ったり悩んだりしたとき、相談に乗ったり助けたりしている」で、五割以上の生徒がよく当てはまると答えていることから、三年生だけでなく一・二年生も優しさに溢れていることがわかります。

ところで、優しさを相手に伝える言葉として、挨拶があります。東中生の優しさを学校生活ばかりでなく、日常生活に生かすためにも、挨拶は欠かせません。挨拶が自分の言葉として使え

ているでしょうか。学校教育アンケート項目「私たちの学校は、挨拶や返事がしっかりできる」で、よく当てはまると答えた生徒は、四割を満たしていません。

このことは、東中生の挨拶に対する思いが、相手に十分に通じていないことを示しているとも言えます。

私は、日常生活はもちろんのこと、学校生活においても挨拶は重要だと考えます。挨拶はコミュニケーションの基本です。挨拶は相手に対する最初の意思表示であると同時に、相手に対する気配りでもあります。言葉でコミュニケーションを図るのです。相手が嬉しいと感じる素敵な挨拶を、東中生全員ができれば認め合いにつながり、大切にされていることを実感できるので、言葉の交流が生まれれば互いに関わり合えることができ、相手を思いやることもできます。心の成長を支えるためにも、生活を楽しむ豊かな言葉のコミュニケーションを磨きたいです。

気配りができる、優しさあふれる東中生です。言葉のコミュニケーションを磨き、素敵な挨拶が溢れる東海中を目指していきましょう。

東海中PTAだより

東海中PTA
広報委員会
第220号

市長杯観戦記

市長杯を終えて

男子バレー部保護者

最後の大会となった市長杯、今年
は後輩たちも全員参加で二階席から
熱い応援をしてくれました。勝負が
かかった二セット目は一進一退が続
きみんなの気迫が観客席にも伝わっ
てきましたが、最後は力尽き三年生
の夏は終わりました。

みんなと一生懸命部活に取り組む姿
を見せてくれてありがとう。保護者は
元気をもらっていました。そしてお疲
れ様。



応援できる幸せ

男子バスケ部保護者

『新人戦優勝』という素晴らしいス
タートをきった男子バスケ部。その
後は負けが続き、悔しい思いも味わ
いました。そして迎えた市長杯。暑
い中、たくさん同級生も応援に駆
け付けてくれました。

「応援される
チームになるう」
練習試合後に顧問
の有田先生が子ど
も達に話された言
葉が思い出される
光景でした。決勝戦は手に汗握る接
戦となりました。連戦での疲れもあ
る中、気迫あるプレイを見せてくれ
ました。応援にも力が入り、コート
の中だけでなくベンチも応援席も一
体となって戦っているようでした。



ブザーが鳴ると同時にボールが高く上
がり試合終了。優勝が決まるとコー
トも応援席も喜びが満ち溢れていま
した。素敵な仲間と先生に恵まれて
最後まで諦めずにバスケットを楽しむ姿
を応援できて幸せでした。ありがとう。

三年間を通して

女子バレー部保護者

今年の三年生
にとつての最後
の大会はとても
厳しい状況に
あった。修学旅
行後の感染症ま
ん延による学年
閉鎖により、期
末テストの予定
が延び、練習す
る時間が失われてしまった。練習不足
の中、大会当日を迎えた。普段なら出
来ていたことがなかなかうまく行かず、
終始押されてしまい、三年生の夏は終
わってしまった。



だが一つ一つのプレーに選手たちの
真剣な表情が見られた。一球一球にそ
れぞれが違う思いを込めて戦っていた
結果は敗戦となってしまったが、この
三年間の部活動を通してたくさんの方
とを学べたと思う。人生には、うまく
いかないことや理不尽なことはたくさ
んあるが、チームプレイで学んだ仲間
の大切さやありがたみをいかして、ど
う向き合うか、乗り越えていくかを考
えてほしい。最後の大会が、三年生に
とつて人生の大切な思い出になってい
ると信じていたい。

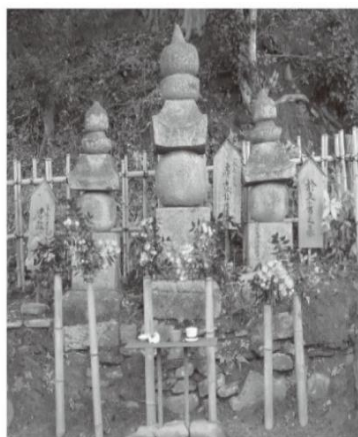
竜谷学区紹介

竜谷学区の桑谷町には、家康ゆかり
の寺「広忠寺」があります。寺名が示
すとおり家康の父松平広忠公の菩提を
弔うために家康公が創建した寺です。
家康公と同じ年の同じ日に生まれた
異母弟の頼新が住職になり母のお久と
共に広忠公の供養につとめました。

境内にお久、広忠公、忠政公の墓が
あります。岡崎観光文化百選にも選ば
れている

広忠寺。

桑谷山を
背に静か
な時が流
れる場所
に一度訪
れてみま
せんか。



左より忠政公、広忠公、妙琳尼(お久の方)の墓

各種大会・コンクール結果

【市長杯総合体育大会】

団体の部

野球部

対幸田中 1-3 惜敗

女子バレーボール部 対甲山中 0-2 惜敗

女子バスケットボール部 対翔南中 18-72 惜敗

男子バレーボール部 対竜海中 0-2 惜敗

男子バスケットボール部 対美川中 58-40 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対六ツ美北中 57-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部 対美川中 49-44 勝利

男子バスケットボール部

対附属中 52-32 勝利

対美川中 58-40 勝利

対六ツ美北中 57-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

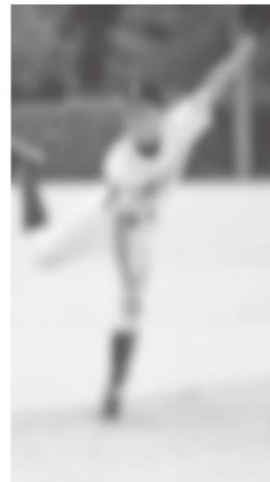
対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利

対美川中 49-44 勝利



個人の部

男子陸上部

優勝 四〇〇m

三位 走高跳

三位 走幅跳

男子水泳

優勝 二〇〇m個人メドレー

三位 二〇〇mバタフライ

ソフトテニス部

優勝

卓球部

優勝

卓球部

優勝

卓球部

優勝

卓球部

【西三河中学校選手権大会】

【愛知県中学校総合体育大会】

団体の部

女子剣道部 予選リーグ 対高浜中 3-1 勝利

対朝日中 1-2 惜敗

対猿投中 0-4 惜敗

男子バスケットボール部 対竜北中 68-47 勝利

対藤岡中 74-69 勝利

男子バスケットボール部 対藤岡中 74-69 勝利

対竜神中 44-57 惜敗

対鶴城中 70-79 惜敗

男子陸上部

優勝 二年一〇〇m

ソフトテニス部

対若園中 3-4 惜敗

卓球部

三位

【西三通信】

三位 共通二〇〇m

優勝 二年一〇〇m

【県通信】

四位 二年一〇〇m

卓球部

三位

【西三通信】

三位 共通二〇〇m

優勝 二年一〇〇m

【県通信】

四位 二年一〇〇m

卓球部

三位

【西三通信】

三位 共通二〇〇m

優勝 二年一〇〇m

【県通信】

男子水泳

二〇〇m個人メドレー

四〇〇m個人メドレー

二〇〇mバタフライ

卓球部

陸上部

三位 二年一〇〇m

【東海中学校総合体育大会】

男子陸上部

予選 三位

二年一〇〇m

決勝 五位

二年一〇〇m

【夏季岡崎市市民総合卓球大会】

高校生男子の部 優勝

【中部日本吹奏楽コンクール】

西三河北ブロック大会

銀賞

【愛知県吹奏楽コンクール】

西三河北地区大会

銀賞

【愛知県野生生物保護実績発表大会】

愛知県獣医師会賞

発表テーマ 「未来へつなぐ糧」

（東海の自然を次代につなぐ）

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

自然科学部

東海大会を終えて

小さかった自分

男子陸上部

八月八日、三重県で行われた東海大会。各県の代表が集まる大会です。大会が近づくとつれ、緊張や不安が出てきました。しかし、スタートラインに立ったとき、

「絶対に勝つ」

という強い気持ちで、予選を走りまわりました。ゴールを駆け抜け、電光掲示板に目を向けると、

「三着 十一・〇八」の数字。

決勝に進むことができませんでした。予選を走り終え、休憩し、決勝に挑みました。いざ走ってみると、一瞬で終わってしまい、速報を見ると五着。自分の小ささを実感し、悔しさが残る大会となりました。

しかしここまで来れたのは、自分の力だけでなく、先生や友達、家族など周りの人から力をもらったからだだと思います。来年こそ、この悔しさをバネに、全国大会優勝を目標とし、日々の練習から全力で走っていきたいです。



健全育成協議会

七月十二日、東海中学区児童生徒健全育成協議会を行いました。学区の関係者の方々、四小学校の生活指導の先生方、警察の方など大勢の方にお越しいただきました。

それぞれの学校の現状、地域での様子情報を交換し、有意義な時間となりました。そして、今後も地域全体で子どもたちを見守っていくという温かい空気があふれる会となりました。



東中協力会総会

七月十八日、東中協力会総会を開きました。東中協力会とは、東海中学校の教育活動に協力していただくことを目的として各町の総代さん方で構成される会です。

総会では、協力金の会計報告と、学校の現状等について報告しました。

総会後は、各学級の授業の様子を観していただきました。今年度も、東海中の教育のためにお力添えいただき、ありがとうございました。



多くの方に支えていただけるとに感謝し、学校教育を進めてまいります。

おやじの会草刈

六月二十四日、おやじの会の方々と生活環境委員会の保護者のみなさんで、校庭の草刈りを行っていただきました。ポリ袋九十袋ほどの草を刈っていただき、広



い校庭がきれいになりました。大変暑い中、本当にありがとうございました。

やまなみ

教育随想

子供たちから、もらったもの

体育主任

新型コロナウイルスの感染拡大、部活動の地域移行、連日上がる気温など昨今の部活動をめぐる情勢は大変厳しい。一顧問である私も、歯がゆさを感じながら、指導にあたっている。そんな中でも、子供たちはただまっすぐに、自分たちの目標を達成しようと、前向きに頑張ってきた。

市長杯にて、多くの運動部の三年生が引退をした。どの部でも、素晴らしい活躍があり、最後まであきらめずに試合に臨む姿が、見ている人たちを感動させた。特に三年生は、試合に出場した選手だけではなく、それを応援する生徒、審判や補助員として試合に関わる生徒も、全員自分ごとのように一生懸命で大変立派であった。三年生が引退し、残された一・二年生は不安であると思う。しかし、そんな様子を見せず「これからは任せてください」と言わんばかりに、笑顔で三年生を見送った。そんな子供たちの姿に、我々顧問のほうも、勇気もらった。

運動部に限らず、今も三年生が頑張る文化部、そして部活動には所属せず個人で頑張る子供たち。その全員が後悔なく、最後まで自分の目標に向かって、指導・支援をしていきたい。